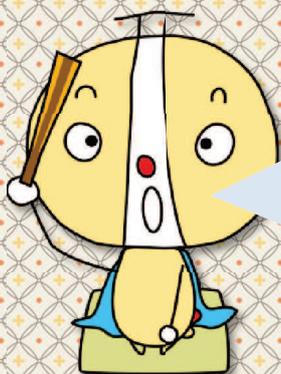


地域の歴史・地理を学ぼう



西成情報アーカイブ事業の一環として、千本小学校にて、「私たちのまちにしなり -西成歴史・地図帳-」を用いた講義を行いました。地名の由来から地域のなりたちを考え、写真や映像から戦争のことも学びました。



2016年12月8日 大阪市立千本小学校
対象…6年生 / 講師…水内 俊雄先生

VOL
2



水内先生より

地域の歴史と空襲についての授業を行いました。千本小学校区域は、江戸時代から西成郡、明治期から西成区という形で、一貫して「西成」という地名と関係を持ち続けてきました。神社の氏子域としては、旧の勝間村、その後の玉出町の生根神社に属したことを、まず確認しました。千本の由来の木津川の千本松について、大正期以降は、造船業をはじめとする重工業



の集まる場として、そこに通う人々の町としても急激に大きくなったことを学びました。空襲の被害は部分的でしたが、授業後半は、動画を用いて、空襲のことを駆け足で学びました。地元のお年寄りから空襲について聞き取りした際の記録動画を見ながら、地域の空襲の記憶を確認でき、みなさん熱心に空襲の実態について学んでくれました。